

2018年7月21-22日 穂高縦走(奥穂高岳~前穂高岳)

参加メンバー：久保、結城(R&B)

5月の岳沢キャンプの際、ジャンダルムに行こう!!と誘っていただいたが、私は夏の穂高を歩いた事がないため、ジャンダルムの下見を兼ね穂高の縦走に行ってきた。

[1日目]

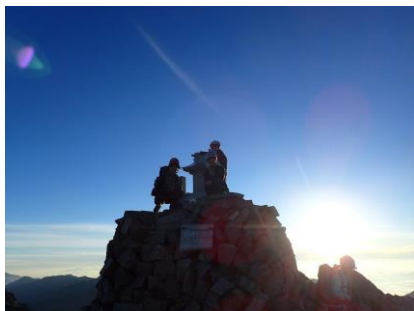
3連休から体調不良が続き病み上がりの状態でもとりにあらず出発してみたが、案の定涸沢に着く手前から調子が上がらず失速。吐き気もあり具合が良く無い。とはいえ、時間はまだまだ余裕があるため、涸沢小屋のテラスで大休止。翌日も長い工程のため、涙を吞んで北穂高岳を諦め、ザイテングラードから奥穂高岳へ登り、翌日体調が戻れば予定通り前穂高岳経由で下山することとした。

真夏の涸沢はどれほど混んでいるのかと思いきや、3連休後だからだろうか、人も少なくとても静か。ここ数日の猛暑のおかげで登山道の雪は消えていた。涸沢カールには雪渓が残り、お花畑が広がる。厳しい日差しが暑く痛くより一層体力を奪うが、思いがけずかの有名なザイテングラードに登る事が出来た。振り返ると、自分がリード出来るようになったら登ってみたい前穂高岳北尾根が目の前に。5・6のコルに繋がるトレースがシッカリと確認できた。いつになくゆっくり歩き、穂高山荘へ到着。

途中、元々予定していた涸沢-北穂高岳間で救助ヘリが遭難者をピックアップしているのが見えた。

[2日目]

体調が戻ったため、日の出前に小屋を出発。奥穂高岳山頂へ近づくとジャンダルムが右手に聳える。吊り尾根を下る者より、ジャンダルムへの縦走者の方が多かった。私達は吊り尾根へ、急峻な下りが始まる。全体的に岩場であり、慣れない人がいると登るにも下るにも時間を要するだろう。相手によってはロープが欲しいかも…そんな話をしながら下った。非常に美しいルートになり、アツと言う間に紀美子平に到着。さらに前穂高岳へ向かう。前穂高岳の往復は大きな浮石が多く、またかなり急傾斜なため混雑時にご遠慮したい。さらに重太郎新道を下るが、道幅も狭い上にザレた岩場。下りは足を滑らせ滑落者が多いということであるが、足が疲れた頃にこの下りは納得。重太郎新道からは5月に登ったダイレクトルンゼが見え、夏・春と登ることで全体像がより理解出来た。



[コースタイム]

1日目：上高地バスターミナル (5:45 発)—横尾(8:20)—涸沢(11:15 着、大休止)—穂高山荘(14:50 着・泊)

2日目：穂高山荘(4:25 発)—奥穂高岳(5:10)—前穂高岳(7:40)—岳沢小屋(11:5)—上高地(12:20 着)